

加藤玄智博士記念学会

神道研究紀要総目録

第一輯～第十輯

明治聖徳記念學會事務局編

第一輯（昭和五十一年五月三十一日）

加藤玄智博士十年祭記念特集号

【巻頭言】

加藤玄智博士の学恩を憶う

伊達 巽

【講演】

生祠とは何か

安津素彦

加藤玄智博士の学績

小林健三

【研究】

跡部良顕の生祠——鹿嶋大宮司邸内の光海靈社——

谷 省吾

【追憶】

加藤玄智先生を偲んで

酒井 堯

加藤玄智先生の思い出

高山 貴

加藤玄智先生の思い出

岡田米夫

晩年の学労窟

梅田義彦

加藤博士を偲んで

石川軍治

慎莫怠

森田康之助

【記録】

加藤先生十年祭の記

鎌田純一

加藤先生十年祭の記

鎌田太一

【附録】

三條考證神教大意（明治六年）

松下永福

神教三條大意（明治五年）

国井清廉

三則正辨（明治七年）

味酒麴翁

第二輯（昭和五十二年五月三十一日）

【研究】

伊勢神宮相殿神の成立考

岡田米夫

神道教学のゆくえ

梅田義彦

水戸烈公の生祀と御陰講

照沼好文

【論壇】

戦後三十年

小林健三

【天窓】

学労窟回顧

青柳 潔

乃木坂の一夜

望月 真

【附録】

官許教義諺解卷之一（明治七年）

渡辺重春

第三輯（昭和五十三年五月三十一日）

書面通じ強烈な影響

——日本思想の位置づけ 加藤玄智博士——

中村 元

教え子からみた加藤玄智先生の教育者の一側面

岸本芳雄

陶冶理想の視座——その社会化か歴史化か——

森田康之助

神道研究の方法

——加藤玄智博士の発達史観批判——

上田賢治

【附録】

官許 教義諺解 卷之二（明治七年）

渡辺重春

三則論題訳解（明治六年）

高木真蔭

第四輯（昭和五十四年八月三十一日）

別冊（昭和五十六年三月三十一日）

日本上古史評論 チャンバーレーン 著・飯田永夫 訳

世界宗教者倫理会議の開催に向って

第六輯（昭和五十七年十二月二十五日）

——パチカン宗教会議（ネミ会議）の評価とネミ以後——

【研究】

天香山と天平瓮

近藤喜博

イソベ氏の信仰

鎌田純一

森有礼の神宮参拝をめぐる

中西正幸

東嶽 宮地巖夫の玄学研究

——主著『本朝神仙記伝』を中心として——

小林健三

本教講録 第壹輯

師岡正胤 編輯

【附録】

三條私解（明治六年）

原 馨

本教講録 第二輯

師岡正胤 編輯

三條述義

大賀賢励

第七輯（昭和五十八年五月三十一日）

シナイ山からローマへ

副島廣之

第五輯（昭和五十六年三月三十一日）

外国人の神道研究者としてのボンソンビ博士

加藤玄智

明治初年の神社改正問題

副島廣之

東嶽 宮地巖夫の玄学研究（第二回）

——主著『本朝神仙記伝』を中心として——

小林健三

加藤玄智先生漢詩集（上）

阪本是丸 神谷俊司 訓註

明治川神社の生祠

高木好次

【附録】

外人の問に答へたる神道（大正元年）

宮地巖夫

第八輯（昭和五十八年十二月三十一日）

生祠研究より見たる神仏二教と基督教

現代神道研究の内外人の離合

——神道の真友 故ボンソンビ博士——

加藤玄智

加藤玄智先生の学徳を仰ぎまつりて

高澤信一郎

加藤先生

安津素彦

加藤玄智先生の思い出

副島廣之

加藤玄智博士の想い出

鎌田純一

学労窟の遺芳

望月 真

加藤先生の学恩を偲んで

鎌田太一

加藤玄智先生のこと

上田賢治

加藤玄智先生の追想

石川軍治

元伊勢両宮 但波乃吉佐宮／與佐之小見比沼之魚井原宮の

研究 吉佐宮篇(上)

旧日本軍をめぐる宗教的事象序説

小野祖教

加藤玄智先生漢詩集(下)

大原康男

加藤玄智博士略歴

神谷俊司 訓註

加藤玄智博士主要著書・論文目録

第九輯 (昭和五十九年九月三十日)

【研究】

元伊勢両宮 但波乃吉佐宮／與佐之小見比沼之魚井原宮の

研究 吉佐宮篇(下)

小野祖教

大磯旧吉田茂邸内社七賢堂について

照沼好文

宗教事象の「説述」について

——研究方法上の一考察——

戸田義雄

第十輯 (昭和六十年十月三十日)

【研究】

会沢正志斎の神道論策

——特に「江湖負暄」を中心として——

名越時正

田中治吾平の鎮魂行法説

——神秘的合一への階程——

津城寛文

伊勢神道思想の発展と継承

——家行・慈遍・親房・兼俱——

高橋美由紀

神道法学の可能性

相原良一